

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	大腸癌におけるTLR3発現に関する臨床的意義の検討		
2. 対象患者	以下の期間で当院消化器外科、乳腺外科、甲状腺外科で大腸癌に対し手術を受けられた方		
3. 対象となる期間	2010年1月1日 ~ 2011年12月31日		
4. 実施診療科等	消化器外科、乳腺外科、甲状腺外科		
5. 研究責任者	氏名	吉田 達哉	所属 消化器外科、乳腺外科、甲状腺外科
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	なし		
7. 研究の意義	トール様受容体3(TLR3)と呼ばれる人の免疫に関わる受容体の発現と大腸癌の病理学的特徴や予後の相関関係を検討することで、大腸癌におけるTLR3の臨床的意義を評価します。		
8. 研究の目的	大腸癌におけるTLR3の発現と大腸癌組織との関連や予後について比較検討することで、大腸癌の発生機序の解明を目的とします。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合があります)	過去の診療情報を使用する研究であり、患者さんに新たな負担や費用を生じることとはございません。既存情報として診療録を利用し得られる病歴・性別・年齢などの患者さんに関連する情報、臨床病理所見などの手術関連情報、再発の詳細と最終転帰などの術後情報を使用します。また当院に保管されている手術摘出標本を用い、免疫染色と呼ばれる特殊な方法で標本における受容体の発現の有無や強度について評価します。		
10. 個人情報の保護	対象者のプライバシーに十分配慮し、情報の漏洩防止に努めます。調査結果については研究目的外に使用することはありません。データは弘前大学医学部附属病院消化器外科、乳腺外科、甲状腺外科並びに大学院医学研究科消化器外科学講座でのみ管理し、対象者の個人情報を外部に漏らすことはありません。対象者の方より、参加拒否の申し出があった場合は、研究対象から除外致します。ただし、既に匿名化のうえ解析済みの場合や研究結果公表済みの場合はそのデータの修正をすることは出来ませんのでご了承ください。		
11. 利益相反に関する状況	本研究の研究代表者・共同研究者が所属する講座では、中外製薬(株)、(株)ヤクルト本社、アステラス製薬(株)、大鵬薬品工業(株)、小野薬品工業(株)、エーザイ(株)から寄附金を受領しており、利益相反状態にあります。ただし、これらは本研究とは直接関係しない研究に対する資金提供であり、これらによって研究成果が不正に歪められることはありません。なお、本研究の利益相反状態については、弘前大学医学研究(臨床研究等)利益相反マネジメント委員会の審査を受けています。		
12. 連絡先	〒036-8562 弘前市在府町5 弘前大学医学部附属病院 消化器外科、乳腺外科、甲状腺外科 研究責任者：吉田 達哉		
	電話	0172-39-5079	FAX 0172-39-5080